

清鋼材(3448)

高品質、多品種少量生産、短納期の生産方針実現に向けた設備投資が中長期の成長を後押し

TOKYO PRO Market | 金属サービスセンター・他金属卸売 | 会社紹介

BLOOMBERG 3448:JP | REUTERS 3448.T

- 主に鋼材の加工および販売を行い、日本、中国、タイの3拠点で事業を行っている。中国事業の比率が高いことが特徴である。
- 2019/3 通期は、売上が前期比 14.4%増の 44.91 億円、営業利益が同 15.9%減の 6,230 万円。中国事業が全体の業績を下支えした。
- 高品質、多品種少量生産、短納期の生産方針実現に向けた設備投資に係る支出は中長期的な成長を後押しするための不可欠なコストとして捉える必要があるだろう。

What is the news?

同社グループは、鋼材の加工および販売を行い、日本（清鋼材および清エステート）、中国（昆山清陽精密機械）、タイ（スガスティール・タイ）の3拠点で事業を行っている。2019/3期の拠点ごと売上構成比は、日本51%、中国43%、タイ6%だが、2019/7末時点の従業員数の構成比で見ると日本19%、中国70%、タイ11%であり、中国事業の占める比重が高い。人件費上昇への対応を含めた人材マネジメント面で中国事業の課題はあるが、仕入・販売先とも日系企業の現地法人が主体であり、中国との輸出入を伴うものではない。そのため、米中摩擦に伴う関税上げが事業に与える影響は特段見られない。また、鉄鋼製品は一般的に鋼材メーカーと需要先との値決め状況が粗利に影響を与えやすく、市況変動が業績に与える影響は小さいものと考えられる。

2019/3 通期は、売上が前期比 14.4%増の 44.91 億円、営業利益が同 15.9%減の 6,230 万円、当期利益が同 10.1%増の 1,259 万円。3 拠点とも受注が好調に推移したこと増収となった。日本における仕入の外注費増加、およびタイにおける新工場関連の経費増加により営業減益となったが、生命保険に係る解約返戻金計上の一時的要因により当期利益は増益だった。セグメント利益は、日本が▲1,662 万円と前期の▲1,135 万円から損失拡大、中国が前期比 0.3%増の 8,929 万円、タイが▲2,075 万円と前期の▲1,595 万円から損失拡大。中国が全体の業績を下支えした。

How do we view this?

2020/3 通期の会社計画は、売上が前期比 9.7%減の 40.56 億円、営業利益が同 13.4%減の 4,400 万円、当期利益が同 78.7%減の 268 万円。中国で鋼材需要の減速が見込まれること、および前期の保険解約返戻金 1,436 万円が無くなる一時的要因から減収減益を見込んでいる。同社は高品質、多品種少量生産、および短納期を生産方針として掲げ、寸法精度を高めた製造設備、一品生産に重点を置いた CAD システムと光ファイバーにより連結されたレーザーマシンを配備し、将来的に 24 時間稼働（無人化）を目指す方針である。設備投資に係る支出は将来の成長のための必要不可欠なコストとして同社の業績動向を見ていく必要があろう。

業績推移

事業年度	2017/3	2018/3	2019/3	2020/3F
売上高(千円)	3,153,041	3,926,469	4,491,799	4,056,000
経常利益(千円)	110,949	53,608	62,305	29,849
当期純利益(千円)	99,551	11,436	12,596	2,689
EPS(円)	450.87	41.78	45.37	8.99
PER(倍)	7.76	83.77	77.14	389.32
BPS(円)	3,181.67	3,288.28	2,411.00	-
PBR(倍)	1.10	1.06	1.45	-
配当(円)	28.50	19.50	15.00	-
配当利回り(%)	0.81	0.56	0.43	-

(出所: 会社公表資料をもとにフィリップ証券作成、F=会社予想)

フィリップ証券株式会社

 配当予想(円) - (会社予想)
 株価(円) 3,500 2019/9/26(基準値)

会社概要

1966年に前社長の星野清士氏が鋼材および非鉄金属等の仕入販売を目的として東京(八丁堀)で設立後、2000年に本社を新潟県糸魚川市へ移転。主に鋼材の加工(切断、開先、折曲、穴明、溶接、塗装)および販売を行う。同社グループは日本(清鋼材および清エステート)、中国(昆山清陽精密機械)、タイ(スガスティール・タイ)の3拠点で事業を行っており、各地域において現地法人が包括的な戦略を立案し、事業活動を展開する。その他に持分法適用関連会社として、同社製品の輸送を委託する有限会社バンノーがある。

主力の鋼材加工事業の内容は以下の通り。清鋼材は、主に小型の建設機械および産業機械用の鋼材部品加工を行っている。昆山清陽精密機械は、主に中～大型の建設機械および産業機械用の鋼材部品加工を行い、日経の建機・産業機械・車両メーカー向けの厚板溶断製品を生産している。スガスティール・タイは、主に中型の建設機械の鋼材部品加工を行い、日系建機メーカー向けに厚板溶断製品を生産している。その他の事業として、本社工場屋根に太陽光パネルを設置して太陽光発電事業を行うほか、第二工場に無菌室の「清々ファーム」を設置して農業生産事業を手掛けている。2019/9/26に TOKYO PRO Marketへ上場を果たした。

企業データ

主要株主(2019/8/23)	(%)
1. 星野 陽一	43.00
2. 東京中小企業投資育成株式会社	30.00
3. 星野 美智子	14.00
4. 星野 大輝	9.33
5. 有限会社バンノー	0.70

(出所: 会社公表資料および Bloomberg をもとにフィリップ証券作成)

アナリスト

笹木 和弘
 kazuhiko.sasaki@phillip.co.jp
 +81 3 3666 6980

増淵 透吾

togo.masubuchi@phillip.co.jp
 +81 3 3666 0707

【レポートにおける免責・注意事項】

本レポートの発行元: フィリップ証券株式会社 〒103-0026 東京都中央区日本橋兜町4番2号

TEL:03-3666-2101 URL: <http://www.phillip.co.jp/>

本レポートの作成者: フィリップ証券 リサーチ部

公益社団法人 日本証券アナリスト協会検定会員、国際公認投資アナリスト 笹木和弘

公益社団法人 日本証券アナリスト協会検定会員補 増淵透吾

当資料は、情報提供を目的としており、金融商品に係る売買を勧誘するものではありません。フィリップ証券は、レポートを提供している証券会社との契約に基づき対価を得ております。当資料に記載されている内容は投資判断の参考として筆者の見解をお伝えするもので、内容の正確性、完全性を保証するものではありません。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願いいたします。また、当資料の一部または全てを利用することにより生じたいかなる損失・損害についても責任を負いません。当資料の一切の権利はフィリップ証券株式会社に帰属しており、無断で複製、転送、転載を禁じます。

<日本証券業協会自主規制規則「アナリスト・レポートの取扱い等に関する規則 平14.1.25」に基づく告知事項>